

遊!!すぽーつ

平成 17 年 3 月 1 日

発行

神戸市体育指導委員協議会

神戸市教育委員会



ごうどスポーツクラブ

大きくはばたけ!!

みんなの“ごうどスポーツクラブ”

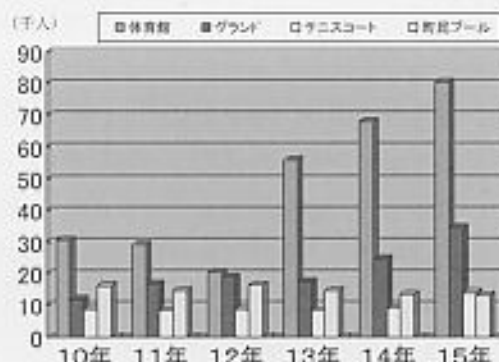
委員長 小 倉 武 郎
神戸市体育指導委員は決して忘れる事はないであろう【平成 15 年 2 月 22 日】町あげて住民の皆さんとつくった『ごうどスポーツクラブ』設立総会の日です。

もとより体育指導委員は行政と地域住民のパイプ役として、神戸市民のスポーツ欲求に対する環境づくりを、あらゆる方面からコーディネートやサポートをしてきました。

平成 7 年、おりしも文部省（現文部科学省）では総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業をスタートさせ、行政任せのスポーツ振興から、住民主導のスポーツ振興への転換を方向付けました。その概要を端的にまとめると、

①地域住民主導の運営②自主財源による運営③クラブとしての理念の共有を柱とし、『いつでも・誰でも・いろいろな種目を・いつまでも・学び・楽しめる』スポーツの場づくりであると言えます。

そして平成 11 年より、体育指導委員はごうどスポーツクラブ発足に向けて今までとは違うステージづくりに戸惑いを感じながらも奔走してきました。研究・視察を重ね行政当局、関係諸団体、各位のご指導ご理解ご協力を賜り、4 年の準備期間を経て発足の運びとなりました。お陰様で現在では全国に誇れる有数の素晴らしいクラブと評価され、中央や各地での事例発表、メディアにも数多く取り上げられるなど、他地域からの視察が後を絶たない状況です。このことは神戸市全体のアピールにもつながり、地域づくりにも貢献しています。そして何よりも多くの会員の皆様に軸にスポーツ人口の拡大、公共施設の効率的利用にその成果を見ることが出来ます。



「グラフは、神戸市体育施設の利用状況。平成 13 年度からクラブのモデル事業がスタートしています。有機的かつ効率的に活用できる条件はまだまだあると思われます。」

自分たちのことは自分たちで。そして将来を担う子どもたちの環境を、スポーツを通じて、つくろう！・守ろう！・確保しよう！そのために神戸市のみんなが目覚め立ち上がった成果がごうどスポーツクラブです。こんな町からは決して連日マスコミを賑わしている目や耳を疑うような、子どもへの虐待さらには大人を震撼させるような問題は発生しないものと信じます。

平成 16 年 9 月、ごうどスポーツクラブではホームページも開設し、事業や収支などをオープンにしながら、会員中心の情報をタイムリーに公開しています。また、全国各地の素敵なスポーツクラブとのネットワークづくりも心がけています。少し寂しい気もいたしますがこの HP 開設を機に、平成 6 年より 10 年 20 刊を発行した“遊!!すぽーつ”を私たちの行革のひとつとして区切りをしたいと思ひます。ご愛読いただいた皆様にはごうどスポーツクラブ便りや HP のなかで、今後もスポーツに関するさまざまな情報を発信してまいります。今後とも体育指導委員の活動に熱いご支援をお願い申し上げます。



「写真は、(財)日本体育協会の『先進クラブ実態調査』をごうどスポーツクラブにて開催。

北信越・東海ブロックの地方企画班員・各県体育協会クラブ育成アドバイザー・設立指定クラブの皆さんが集い、活発な意見交換が行われました。この会議の報告は(財)日本体育協会のホームページでも公開されます。」

スポレク・フェスティバル2004

吉田 貢仁子

“たのしくふれあうスポーツ体験の場” 10月3日(日)、総合体育館、神戸中グラウンド、町民体育館にて約900名の皆さんが参加して下さいました。

今年度初めて取り入れたのは“スポーツチャンバラ”男子に絶大な人気でした。また、長縄跳びは、日本レク協会のチャレンジ・ザ・ゲームの種目にある“ロープ・ジャンプX” by スポレクフェスごうどバージョンにアレンジをして挑戦した結果、日本レク協会の10月のランキングで下記のようなすばらしい結果になりました。そして、町民体育館で行なわれた親子バドミントン大会は、参加者全員の手作りの大会にされ、本当に心温まる姿に感動しました。

毎年、ひとつでも新しいものを取り入れ皆さんに喜んで頂ける、そしてもっとたくさんの町民の方々のふれあいの場になるよう、多方面からのご意見もお待ちしております。来年度もみんなで楽しくスポレクしましょう!!



長縄跳び

ロープ・ジャンプX ランキング表

(登録103チーム中)			1チーム3人以上。時間は5分間。跳んだ回数×跳ぶ人数がチームのポイントになる。
第13位	神戸小バレーボール少年団	460P	
〃	神戸中野球部(1・2年)	460P	
第17位	神戸中バスケットボール部(女子)	423P	
第29位	〃 (男子)	279P	
第31位	神戸中野球部(2年)	260P	

どんとこい祭

小野 太久朗

台風一過のすばらしい天候に恵まれ開催されましたどんとこい祭。

私達ごうどスポーツクラブも昨年より参加いたしております。昨年はクラブの広報活動、今年は物品販売

で「カレーライス」「かき氷」を販売致しました。イベント委員会を中心に計画し、当日はクラブのスタッフの協力によって、両品とも大好評で、完売でき、わずかな利益ですが、クラブの運営資金の一部としております。ごうどスポーツクラブでは、地域の皆様方とのふれあいを大切に、地域に根ざしたクラブを実現したいと考え、どんとこい祭にも参加しております。



ファミリー登山



松岡 徹

見るもの、聞くもの、すべてが新鮮だったに違いない末娘の登山。

長女(当時4歳)が、昨年、貝月山でデビューし、オンブ・ダッコ等言わずに登ってから彼女自身、何か自信がついたのだろうか、山登りの話をよくする。そんな姉の姿を見ていて、「私も行きたい」と言い出した、親子そろって登る、これこそ山登りの原点なのだ。

ただし、原点に近ければ近いほど難度は高くなる。末娘(3歳)のデビューとなる山は、国見岳。春日村と滋賀県との県境にある標高1,126mの山である。貝月山に比べてやや足場が悪い、あなどれない山だ。パートナーである妻は?…「私しゃべる元気も無い」

ダメダコリヤ。

2人同時に面倒を見るのは到底無理である。ところが、前回と同じく、野歩路会の方々が、イベント「第2回ファミリー登山」に対して全面サポートして頂いたおかげで、長女は腰にザイルを巻き下り道での安全確保をしてもらい怖がらずに安心して自力で下山できた事に対して山・自然がより好きになったに違いないだろう。娘いわく、「一緒に登った叔父さんババよりすごい。また行こうネ」と言っているから確かだと思う。

ところで、デビューの末娘は最初の20分自力で登り後は終始キャリアでのおんぶである。しかし、口だけは達者で「あの山なんて言うの?こんどあの山へ登ろう」と背中越しに話かけるしだいであった。まあ、これも良い経験だと思う。今までは家で、山の話は長女と話していたが、これで自分も山の話に参加出来る事が嬉しいのだろう。参加者全員トラブル無く帰路に着くことが出来た事を、クラブ及び野歩路会の皆さんに感謝し、末娘が自力で登れることを願いつつ来年も是非参加したいと思っています。

「KIN-BALL リードアップゲーム」講習会に参加して

久野 三 慶

昨年、「KIN-BALL リードアップゲーム講習会」に参加しました。内容は盛りだくさんで、ストレッチを中心とした準備運動から始まり、二人組での気持ちや体をリラックスさせるための運動（じゃんけんしたり、2人が鏡に映ったように同じ動作をしたり、肩たたきやマッサージをし合ったり等）を行い、次に実際にボールを使ったゲームを行いました。

ボールゲームの中味としては、キンボールを頭の上に持ち折り返し点をまわって次の人に渡すキンボール運び、ボールを相手コートに投げ入れたり蹴り入れたりして得点を競うキンボールドッチ、7～10人ほどが1つの円になって手をつなぎその中でボールを頭で打ったり蹴り上げたりして床に落とさないで連続で打てた回数を競うサークルリフティング等でした。そこで初めて顔を合わせた人たちとチームを組みプレーしたのですがどの種目も夢中になって楽しむことの出来るものばかりでした。（具体的な内容を簡単な冊子にまとめましたのでコミスポやファミスポ等で活用していただけたらうれしいです。）

スポーツは身体を動かすこと自体が、またゲームを行うこと自体が大きな楽しみであり、喜びですがそれと同じだけの、あるいはそれ以上の楽しさや喜びが誰かと一緒にプレーするという中から感じられるのではないのでしょうか。

いろいろな「スポーツ」を遊び感覚で気軽に楽しめる「遊／すぽ一つ」として、また友達・仲間づくりのための「友／すぽ一つ」として生活の中に生かしていきたいと思います。

コミュニティスポーツへの取り組みに対する想い

堤 勝 則

コミュニティスポーツが、普及し2004年度より、新しくスポーツチャンバラを取り入れてまいりました。スポーツチャンバラを取り入れる際に、体育指導委員全員が研修会に参加して、インストラクターの認定を取得し、普及に取り組んできました。

初めて体験する子どもたちに、「チャンバラごっこ」にキチンとしたルールを取り決めたスポーツであることを説明し、最初は、練習を兼ねて個人戦で相手を一戦毎に替わりルールの指導をしていきました。その後は、チーム分けをして、大将戦（各チームに1人の大

将を決め大将が対戦相手の攻撃を受けずに大将が残ったチームが勝ち）をして、チームワークの大切さを体験し、参加した子どもたちは、楽しく取り組むことが出来ました。

子どもたちが、「子どもらしさ」を発揮することが出来ない今日この頃ですが、参加した子どもたちの目は光輝いて、いきいきしていました。今後も、子ども同士が、共に遊び相互に教えあったりできる場をコミュニティスポーツを通じ協力をさせて頂きたいと思います。

ファミリースポーツデイ ～家族の絆～

清 水 博 子

「こっち／ こっち～」

子どもたちの、お父さんお母さんと呼ぶ声が体育館に広がります。

そうです。今日は月一度の（第3日曜日）ファミリースポーツデイなのです。いろんなスポーツが簡単に、且つ楽しく、手軽に、自由に触れ合える日なのです。

子どもにせがまれ、重い足をひきずり出かけて来られたんでしょう。でも、ひとつ・ふたつと体験するうちに、夢中になり心から楽しそうにボールを追うお父さんと息子さん。そのそばにお母さんがいて、兄弟がいる。笑顔がある。

そんな姿を見ると、これがファミリースポーツなんだと嬉しくなる。スポーツや遊びを通し、おなじ時間共有し、家族と一緒に汗を流すことで親子の絆を積み重ねていく。そんな気がします。

もっとたくさんの方に来ていただきたい。そしてふれあえる楽しさを体験していただきたい！

大きな歓声、楽しい笑い声、ステキな笑顔が体育館いっぱいになることを期待します。

ぜひ一度、町民体育館に足を運んでみてはいかがでしょうか！



キンボール

第45回全国体育指導委員研究協議会に参加して

番 直 雄

11月18日(木)～19日(金)の両日、兵庫県姫路市で開催されました。この大会には、全国6万余名の体育指導委員が、日頃の活動成果や目標などについて関係行政と一緒に、毎年研究協議を行なう重要な全国大会であります。

今大会では、神戸町の小倉武郎体育指導委員長が平成14年2月の東海四県体育指導委研究大会に続いて、全国功労者表彰を受賞されました。これは、岐阜県また神戸町の誇りです。私も神戸町の体育指導委員も本当にうれしく思います。

受賞式の後、特別講演「人生苦あれば楽あり」と題しプロ野球解説者 大沢啓二氏の講演があり、笑いありカラオケありまた、小唄ありとなんでもありの講演でした。さすがプロだなあと言う厳しい事も話されましたがとにかく楽しい講演でした。

二日目、私たちは第2分科会に参加させていただきました。テーマは「総合型地域スポーツクラブの育成と自立を目指して」副題として(10年後を見据えたクラブマネジメント)で、前日とは打って変わって分科会を聞き入っていました。どこのスポーツクラブも、財源の確保に四苦八苦されている話で当ても例外でなく身に詰まされた事で今後も会員の増加また賛助会員の協力に頼るところが大です。それには「総合型地域スポーツクラブ」は「楽しいからスポーツする」「楽しいから継続できる」「楽しく生きがいのある場だから集まる」「楽しいから人にすすめられる」などの声が聞こえてくるクラブになるように提案し自分も楽しみながら努力をしたいと思えます。



第52回東海四県体育指導委員研究大会に参加して

若 園 千恵美

2月4日(金)～5日(土)3000人を超える参加者で、金メダリスト野口みずき選手の出身地、三重県伊勢市で開催されました。

記念講演では、「イチロー」を育てた中村 豪先生(前愛工大名電高野球部監督)が「夢を託して」と題し話されました。選手育成の前に人間形成が大切であることや、ハート(心)を訓練することが一番であることなど、私たち指導者が根本を見つめ直す事ができたと思います。

2日目の研究協議では、「地域のスポーツ活動と体育指導委員」のテーマの分科会に参加し体育指導委員として色々な課題の解決に向かい、一同全力で取り組んでまいります。



各校区祭でのスポーツ活動の様子



神戸小校区



下宮小校区



南平野小校区



北小校区

健康1言
メモ

癌予防の食事

人を良くすると書いて食と読みます。食べ物と健康も切っても切れない深い関係があります。

基本は
“まごにやさしいわ”

ま 大豆などの豆類

ご ごま類

に にんにく・玉ねぎ

や 緑黄色野菜

さ 魚類

し しいたけ・エノキ類

い イモ類

わ わかめ・昆布など海藻類



編集後記

コミュニティスポーツタイム、ファミリースポーツデイに参加される方々の笑顔を見ています。うれしくなります。

親子で対戦して同じ汗をかける喜びは、かえがたいものと思います。皆さんも一度のぞいてみて下さい。

お待ちしております。